



2021. 2. 1

寒さが厳しい2月初旬、里山の動植物はじっと寒さに耐え、春を待ちわびています。何となくさびしそうですがそんなことはありません。木々の葉が落ちて日ざしが差し込み、お天気のよい日、風さえ避ければ結構暖かいんですよ。あとちょっと、春の息吹き、足音が少しずつ近づいています。

ちょっと早い出番です！

空の色を映しとったような青い花
オオイヌノフグリ

空に向かって開く花。虫が受粉に來なければ、花を閉じる時に自分で受粉。だから結実率は100%に近い。



名前は実の形が犬のフグリ（陰のう）似、在来種のイヌノフグリより花が大きいから。

ずっと立ちあがる赤紫色の花
ホトケノザ

花を引き抜いて吸うとわずかに甘い蜜の味がする。ピロードのような丸い蕾がかわいい。



春の七草のホトケノザは別種。葉が仏様の座る蓮座に似ているから。段々につく葉から三階草とも。

葉の間から顔を出す薄ピンクの花
ヒメオドリコソウ

向かい合わせの葉が密につき、どの葉にも日が当たるように上手に重なりあっている。

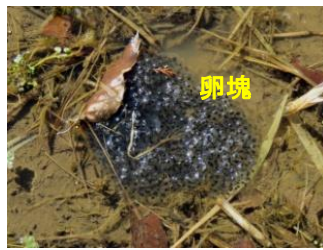


花笠をかぶり踊っているように見える在来種オドリコソウよりずっと小さいのでヒメオドリコソウ。

アカガエルさん出番です！



ニホンアカガエル



卵塊

アカガエルは北の方の寒いところからやってきたので寒さに強く暑さに弱い。まだほかのカエルが眠っているうちに目覚めて産卵、敵も少ないそうだし・・・。繁殖行動（産卵）の後は山へ戻って春までもうひと眠り・・・



シュンラン


春を待っています！
in 堂谷津の里



フデリンドウ



アオイスミレ



ノゲシ



ナナホシテントウ

<季節メモ> **立春**

今年は2月2日が節分、翌3日は立春。この36年間、立春と言えは2月4日でしたが今年の立春の瞬間は2月3日23時59分、1分差で3日です。24節気では春の始まり、暦（旧暦）の上では春、寒さはピークを過ぎ、これからは春に向かっていくのですね。立春は八十八夜、二百十日など雑節の起算日でもあります。春の風に乗って飛ぶスギ花粉にご注意！



写真・編集：晝間